

(様式第1号)

指定管理者制度導入施設の管理運営に関する評価票(評価対象年度:平成 27年度)

| | |
|-----------|---------------------------|
| 施設の名称 | 宮城県県民の森 |
| 指定管理者の名称 | 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会 |
| 施設所管部課(室) | 環境生活部 自然保護課 |

1. 当該施設の管理形態の推移【施設所管課記入】

| 期 間 | 管理形態 | 指定管理者(管理受託者)の名称 | 摘 要 |
|-------------------|-------|---------------------------|-----|
| ～ 平成18年3月 | 管理委託 | 社団法人宮城県林業公社 | |
| 平成18年4月 ～ 平成21年3月 | 指定管理者 | 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会 | |
| 平成21年4月 ～ 平成24年3月 | 指定管理者 | 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会 | |
| 平成24年4月 ～ 平成29年3月 | 指定管理者 | 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会 | |

(注)管理形態欄には、直営・管理委託・指定管理者の別を記入してください。

2. 現指定管理者の概要【施設所管課記入】

| | | |
|----------|---|---------------------------|
| 指定管理者の名称 | 名称 | 特定非営利活動法人 宮城県森林インストラクター協会 |
| | 所在地 | 宮城県利府町神谷沢字広畑6番地40 |
| 指 定 期 間 | 平成24年4月1日 ～ 平成29年3月31日 (5か年) | |
| 募 集 方 法 | <input checked="" type="checkbox"/> 公募 <input type="checkbox"/> 非公募 | |

3. 施設の概要【施設所管課記入】

| | | |
|---------------|---|---|
| 施設の名称 | 宮城県県民の森 | |
| 所在地 | 宮城県利府町神谷沢字菅野沢41 | |
| 設置年月 | 昭和44年10月 | |
| 根拠条例等 | 県民の森等の設置及び管理に関する条例 | |
| 設置目的 | 明治百年の記念事業として開園した当該施設は、自然環境や生活環境を守る森林についての理解を深める施設であるとともに、森林レクリエーションを通じて県民の健康増進に寄与する施設である。 | |
| 施設の内容 | 敷地面積 | 4,431,732㎡ |
| | 構造 | 中央記念館:RC造一部2階建 延床1,048.67㎡, 森の学び舎展示棟:木造一部2階建 延床379.56㎡, 森林公園:遊歩道等・フィールドアスレチック施設・野外音楽堂ほか |
| 内容 | 県民の森:中央記念館, 車庫・倉庫(2棟), 公衆便所(2棟) 青少年の森:森林学習展示館(2棟), 新校倉造展示館, 森林学習館, 森の学び舎展示棟, 倉庫, 公衆便所(2棟) 全体:駐車場, 基幹作業道, 遊歩道, フィールドアスレチック施設, 湿性植物園, 芝生広場, 野外音楽堂, 森林等 | |
| 開館(所)日 | 通年(年末年始の12月29日～1月3日を除く) | |
| 開館(所)時間 | 午前9時～午後4時30分(4月～10月), 午前9時～午後4時(11月～翌3月) | |
| 指定管理者が行う業務の範囲 | (1)県民の森の運営業務に関すること (2)県民の森の維持管理業務に関すること (3)施設利用に関すること | |
| 利用料金制 | 採用の有無 | <input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無 |
| | 利用料金の名称 | 入場料は無料で、会議室等の利用は有料。イベント等で実費程度の参加料を徴収する場合もある。 |

4. 施設利用実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

| (1) 開館(所)日数及び利用者数 | | | | | |
|--------------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------|------------------|
| 項 目 | 事業計画 | 実 績 | | 対計画比 (C)/(A) | 対前年度比 (C)/(B) |
| | 評価対象年度 (平成27年度) (A) | 前 年 度 (平成26年度) (B) | 評価対象年度 (平成27年度) (C) | | |
| 開館(所)日数 | 359日 | 359日 | 359日 | 100.0% | 100.0% |
| 延べ利用者数 | 250,000人 | 262,455人 | 257,345人 | 102.9% | 97.9% |
| (注)対象施設が複数ある場合は、施設ごとに記入してください。 | | | | | |
| (2) 延べ利用者数の内訳 | | | | | |
| 項 目 | 事業計画 | 実 績 | | 対計画比 (C)/(A) | 対前年度比 (C)/(B) |
| | 評価対象年度 (平成27年度) (A) | 前 年 度 (平成26年度) (B) | 評価対象年度 (平成27年度) (C) | | |
| 県民の森 | 23,1000人 | 243,243人 | 235,265人 | 101.8% | 96.7% |
| 青少年の森 | 19,000人 | 19,212人 | 22,080人 | 116.2% | 112.6% |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 合 計 | 250,000人 | 262,455人 | 257,345人 | 102.9% | 97.9% |

5. 管理運営収支実績【施設所管課記入(太枠内は指定管理者記入)】

| (1) 収入 (単位:千円, %) | | | | | |
|--|---------------------------|--------------------------|---------------------------|-----------------|------------------|
| 項 目 | 事業計画 | 実 績 | | 対計画比 (C)/(A) | 対前年度比 (C)/(B) |
| | 評価対象年度 (平成27年度) (A) | 前 年 度 (平成26年度) (B) | 評価対象年度 (平成27年度) (C) | | |
| 県指定管理料 | 32,194 | 32,194 | 32,194 | 100.0% | 100.0% |
| 利用料金収入 | 50 | 11 | 33 | 66.0% | 300.0% |
| その他 | 611 | 621 | 1,469 | 240.4% | 236.6% |
| 収入計 (a) | 32,855 | 32,826 | 33,696 | 102.6% | 102.7% |
| (2) 支出 | | | | | |
| 人件費 | 20,381 | 19,661 | 20,880 | 102.4% | 106.2% |
| 施設管理費 | 5,426 | 5,748 | 5,300 | 97.7% | 92.2% |
| 事業運営費 | 5,414 | 5,790 | 5,856 | 108.2% | 101.1% |
| その他(租税公課) | 1,634 | 1,627 | 1,657 | 101.4% | 101.8% |
| 支出計 (b) | 32,855 | 32,826 | 33,693 | 102.6% | 102.6% |
| (3) 収支 | | | | | |
| 収 支 (c)=(a)-(b) | 0 | 0 | 3 | 300.0% | 300.0% |
| 前期繰越収支差額 | 37 | 37 | 37 | 100.0% | 100.0% |
| 次期繰越収支差額 | 37 | 37 | 40 | 108.1% | 108.1% |
| 自主事業の収支実績 | 収 入 | 支 出 | 収 支 | 備 考 | |
| | 1,350 | 1,217 | 133 | 自主事業に係る資材費・保険料等 | |

6.評価対象年度(平成24年度)の管理運営評価【指定管理者・施設所管課記入】

| 項目 | 事業実績 【指定管理者記入】 | 指定管理者の自己評価 【指定管理者記入】 | | 県の評価 【施設所管課記入】 | |
|---------------------|---|--|----|--|----|
| | | | 評価 | | 評価 |
| ①管理運営体制 | 「みやぎ環境税」を活用した中央記念館内部の改修工事も行われた。しかし、従来通り「森に癒され・遊び・学び・守る」の受託コンセプトに、「来園者の安全確保」を重点課題とし、来園者への安らぎの場の提供を目指した。改修工事に伴い記念館周辺の安全確保と園内巡視の強化を図ると共に、遊歩道周辺・遊具周辺の危険木撤去及び安全管理を積極的に実施した。また、指定管理者賠償責任保険への継続加入やAEDの取り扱い熟知にも意を注ぎ安全管理対策に努めた。安全な園内整備の為に、作業職員の技術向上と安全作業の徹底を図るべく作業機器整備専門の業務経験のある職員による日常のOJTを実践し安全な整備作業を遂行した。 | 来園利用者数は、26年度実績を踏まえ、計画目標、250,000人をクリアし257,345人で対計画比102.9%、前年対比97.9%でしたが、2年連続250,000人以上の利用者数となった。園内の管理は年間作業計画に基づき実施した結果、ほぼ計画通り遂行できた。9月の大雨災害の他は、特段事故もなく安全な環境を維持できた。 | A | 中央記念館の改修工事中も来園者の利便性を損なわないように適切な管理体制により、安全対策や周知方法に工夫を凝らして対応され、利用者の満足度も高く、リピーターも多く見られたことから、計画目標の来園者数に対して、ほぼ計画どおりの来園者数であった。12月から3月までのおよそ4ヶ月間、中央記念館の展示改修工事による閉鎖期間があったことから考慮すると、宮城県森林インストラクター協会の事業計画に基づいた適切な管理運営体制であったと認められる。また、職員に対し、徹底した安全研修を実施しており、管理に対して十分な体制で実施していた。 | S |
| ②施設・設備の維持管理業務の実施 | 業務計画に基づいて実施した。職員による通常の園内巡視及び、来園者からの通報などを基に、園内施設や遊歩道の整備・改修・補修等を速やかに実施した。遊具については、毎週金曜日を定期点検日と定め一層の安全管理に努めた。委託業務についても、委託業者と連携を密に取り滞りなく遂行した。 | 施設の保守点検、防火巡視業務等の委託を適宜実施し、園内管理として草刈りや危険木撤去作業もその都度実施した。機器の事前点検の励行・メンテナンスの徹底・作業者の熟練などにより効率良く進捗した。 | A | 事業実績報告などから、適切に実施されたものと認められる。また、老朽化した施設に関する補修や区域内の刈払いを適切な時期に実施されるとともに、倒木等の緊急的な処理についても、迅速かつ丁寧に実施されている。 | A |
| ③運営業務(ソフト事業等)の実施 | ①で既述のコンセプトに則り計画していた、1自然体験・2森林啓発・3森林文化継承等は、自主事業に於いてそれぞれの趣旨に沿った各種事業を実施した。(下記④の自主事業の実績を参照願いたい)。4広報の強化は、HPの更新をはじめ、「県民の森たより」や園内施設の掲示、近隣の公共施設への告知で園内状況の周知を図り、各種イベントは、新聞の情報コーナーへの投稿・ポスター・チラシの作成・配布、関連施設への掲示依頼などで対応した。 | 「県民の森たより」やチラシ・新聞掲載情報等に基づく種々の問い合わせも多く寄せられ、特に、HPの情報発信による効果も年々多く確認された。中央記念館内の展示物改修工事による情報発信低下の回避策としてチラシ配布用のレターケース等を設置した。 | A | 各種イベントを企画実施するとともに、その情報を積極的に発信するなど、利用者への周知が図られていると認められる。また、年度後半から施設の改修工事が行われている中でも継続的に情報等が利用者へ発信されている。 | A |
| ④自主事業の実施 | 自主事業は、改修工事の関係で一部の事業回数が減になったが、概ね計画通り実施され、「もりもり教室」25回、「剪定講習会」4回、を開催し、延べスタッフ数257名の協力で一般参加者957名を得た。また、「ノルディックウォーキング&ミニ観察会」17回、「森の癒し体験」12回、「県民の森ハイク」6回、「もりの案内」36回、「竹クラフト講座」12回も実施し、延べスタッフ383名の協力で一般参加者1,742名の参加も得た。また、岩切城跡歴史探訪会との協賛の「岩切城を訪ねてみよう」も好評につき今後も継続実施することとした。 | 新講座の「もりの案内」、「クラフト講座」、をはじめ他の各教室で延べスタッフ数640名の協力で一般参加者2,699名と前年度対比200.7%と大幅上回った。今後も自主事業の充実を図り、来園者の増加に努める。 | S | 継続的に実施されている自主事業も含めて、各種イベントを積極的に企画するなど参加者の増加に努めており、企画・運営が適正に実施されていると認められる。高度な知識を持つ豊富なスタッフを持つ強みを活かし、他の団体では難しい分野にまで活動範囲を拡げているなど、飽きさせない内容となっており来場者の増加につながっている。 | S |
| ⑤利用者サービスの向上 | 「県民の森運営実行委員会」を設立し教育関係、近隣の方々等のご意見をひろく頂き運営に反映した。改修工事中は特に来園者の安全確保や、クマ出現・スズメバチに対する注意喚起、遊歩道・遊具整備により園内の安全利用に力を注いだ。自主企画の計画通りの実施と質のいい、的確な情報発信努め参加者の満足度向上を図った。 | 改修工事中の安全確認、必要所には、注意立札や「立ち入り禁止」ゲートを設け来園者の安全確保に努めた。また、職員の園内自然情報の共有や参考図書・輪読などで自然観察能力のスキルアップを図り、園内の案内サービスの向上にも努めた。 | A | 熊出没に関する利用者への注意喚起や交通事故対応やその後の処理などの安全確保を適切に実施するなど園内の状況を常に把握し利用者へのサービス向上に努めたものと認められる。今後も引き続き利用者の安全確保に努めてほしい。 | A |
| ⑥利用者の苦情、要望等の把握とその反映 | ご意見カードによる要望や、来園者から直接寄せられた要望には、迅速に対応するように心掛けた。その際、苦情と提案を的確に判断し、丁寧な聴き取りを心掛けて対応した。 | 寄せられた要望には速やかな対応処理を心掛け、感謝されるケースもあり、概ね満足な対応ができたと考えている。しかし週末や行楽期の駐車場不足・中央記念館内へ自販機設置の要望も寄せられました。 | A | 利用者からの要望等に対する対応などについても、迅速かつ丁寧であり適切であると認められる。今後も利用者から寄せられた要望等に対して、利用者への安全・安心と利便性の向上に努めてほしい。 | A |
| ⑦安全対策 | 日常の園内巡視を遂行し、危険の予測される箇所を改善・回避に迅速対応するように心掛けた。9月の豪雨災害には、優先順位をつけて対処した。カシノナガキクイムシ被害に伴うスズメバチ対策は看板・トラロープによる注意喚起を行った。また、指定管理者賠償保険への加入AEDの定期点検、定期消防訓練、奥羽級手当訓練等を実施し来園者の障害リスクに備えた。 | 幸い大事に至る障害や救命救急の必要な事案の発生は無かった。消防署の査察での注意事項も無く、消防訓練も建物火災と林野火災を想定し計画通り2度実施した。 | A | 適切な巡視と迅速な対応及び施設点検等が行われ、また、職員への安全に関する意識も高く、緊急時における状況把握と安全確保に努めるとともに、適切に安全対策を実施したものと認められる。 | A |
| ⑧県民の平等利用 | 来園者への公平性を念頭に、誰でもが安全かつ有効に施設を利用できるように心掛けた。施設の使用許可にあたり条例を遵守し利用者の利便に可能な限り応えるようにした。 | 辛い制限行為や入園や施設貸出の拒否を必要とするような事態は生じなかった。一部使用の制限が生じたものの、利用者には安全で気持ちの良い利用をしてもらえたものと考えている。 | A | 広く県民に対して利用を促すように実施された対応であったと認められる。 | A |

| | | | | | |
|----------|--|--|---|--|---|
| ⑨個人情報の保護 | 管理運営に関する協定書に定められた、「県民の森の個人情報の保護に関する規定」について職員への周知徹底を図った。特に自主事業参加者の受付簿等の個人情報の扱いについては、扱い者に注意喚起を促し、保管場所の管理を徹底した。 | 自主事業参加者名簿は、終了後速やかに所定の保管場所に移し、特に漏洩に問題が生じる恐れのある情報は、施錠可能なデスクに保管し、不要になった情報はシュレッダーに掛け確実に処分した。 | A | 個人情報の保護に関する重要性を職員全員が認識し、適切な対応や書類の管理行われていると認められる。 | A |
| ⑩利用実績 | 中央記念館内展示物改修工事があったものの26年度利用者実績262,826人を参考にして250,000人の集客目標を設定した。(1)で記したように26年度比97.9%、対計画比102.9%で目標は達成した。 | 月間の推移をみると県民の森が夏場の週末の悪天候による影響が顕著である。 | A | 一部の歩道等において通行制限がされていたものの、利用者が増加するなど計画目標がほぼ達成されており、集客への対応がなされているものと認められる。今後は、利用者が森林に癒され一時の安らぎとなるような事業提案を積極的に実施してほしい。 | A |
| ⑪収支実績 | 必要経費の優先順位を精査し、効率的に事業を実施した。 | ほぼ事業計画どおりの収支実績を達成できた。 | A | 適切に事業が実施されたと認められる。 | A |
| ⑫その他の取組 | | | | | |
| 総合評価 | | 蓄積されて来た管理運営手法を生かし、事業計画どおりの業務を遂行できた。 | A | 利用者はほぼ計画目標どおりであり、各種イベントも充実し参加者がリピーター化し増加していることも施設への集客に繋がっているものと考えられる。また、施設の運営管理体制、維持管理及び安全対策等についても良好であると認められる。 | A |

【指定管理者が行う自己評価の基準(目安)】

| 評価 | 評価の考え方 |
|----|--|
| S | 年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営を行った。 |
| A | 年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営を行った。 |
| B | 年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。 |
| C | 年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われなかった。大いに改善努力が必要である。 |

【県が行う評価の基準(目安)】

| 評価 | 評価の考え方 |
|----|--|
| S | 年度事業計画書等の内容を上回る実績であり、優れた管理運営が行われた。 |
| A | 年度事業計画書等の内容と同程度の実績であり、適正な管理運営が行われた。 |
| B | 年度事業計画書等の内容を下回る実績であり、さらなる工夫・改善が必要である。 |
| C | 年度事業計画書等に基づく管理運営が適切に行われたとは認められず、大いに改善努力が必要である。 |

7. 施設管理運営の課題等【指定管理者・施設所管課記入】

| 項目 | 指定管理者 【指定管理者記入】 | 県 【施設所管課記入】 |
|----------|---|--|
| 管理運営の課題等 | <p>1. 中央記念館駐車場の収容台数が少なく現実に合わない状態で、週末や行楽期にはすぐ満車となり路駐が常態化し通行の妨げとなる事態が生じている。園内マップ配布等で駐車分散化に努めているが限界があり、駐車場増設に緊急対応の必要がある。</p> <p>2. 来園者に人気の木製遊具の安全点検には万全を期して可能な限りの補修を実施しているが、腐朽の進行が更に加速しており、木製遊具の早急な交換を急ぐ必要がある。</p> <p>3. 不法投棄防止柵の増設・更新を務めているが、不法投棄の増加傾向は収まらず、引き続き所管課からの投棄物処理費用の応分の負担を希望する。</p> | <p>1 駐車場の増設については、設置の敷地が無く、造成工事も含め検討する必要があるため早急な対応は難しいが、今後長期的視点・短期的視点の両面で検討を重ね財政部局と協議しながら対応を考えていく。</p> <p>3 遊具メーカーとの現地調査を行っており、腐朽が進行している施設等については、急がれるものから順次整備していく。</p> <p>3 不法投棄量は減少しているものの、件数としては横ばい傾向となっており、処理費用は今後とも確保していく。</p> <p>4 不審者や不法侵入、といった案件も見られたことから、巡回時にはそういった観点での巡視も検討する。</p> |